

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第3区分  
 【発行日】令和7年6月9日(2025.6.9)

【公開番号】特開2023-181614(P2023-181614A)  
 【公開日】令和5年12月25日(2023.12.25)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-242  
 【出願番号】特願2022-94845(P2022-94845)  
 【国際特許分類】

**B 2 5 B 2 1 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )**

10

【F I】

B 2 5 B 2 1 / 0 2                      G

【手続補正書】

【提出日】令和7年5月30日(2025.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステータ及び少なくとも一部がステータの内側に配置され回転軸を中心に回転するロータを有するモータと、

前記ステータよりも前方に配置され前記ロータの回転力により回転するスピンドルと、少なくとも一部が前記スピンドルよりも前方に配置され、ビットが装着されるアンビルと、

前記アンビルを回転方向に打撃するハンマと、

前記モータを収容するモータ収容部を有するハウジングと、を備え、

最大締付トルクは、140Nm以上であり、

30

前記回転軸に平行な前後方向における前記モータ収容部の後端部と前記アンビルの前端部との距離を示す全長 $L_a$ は、100mm以下であり、

上下方向における前記回転軸と前記モータ収容部の上端部との距離を示すセンターハイト $H_c$ は、29mm以下である、

インパクト工具。

【請求項2】

前後方向における前記モータ収容部の後端部と前記アンビルに装着された前記ビットの前端部との距離を示す総全長 $L_h$ は、140mm以下である、

請求項1に記載のインパクト工具。

【請求項3】

40

床面に直交する壁面において前記床面から10mmだけ上方の位置にあるねじを前記ビットで締付作業するときの前記回転軸と前記床面とがなす角度を示す隅打ち角度は、12度以下である、

請求項1に記載のインパクト工具。

【請求項4】

左右方向における前記モータ収容部の寸法を示すヘッド部幅 $W_a$ と全長 $L_a$ との比は、0.6以下である、

請求項3に記載のインパクト工具。

【請求項5】

ステータ及び少なくとも一部がステータの内側に配置され回転軸を中心に回転するロー

50

タを有するモータと、

前記ステータよりも前方に配置され前記ロータの回転力により回転するスピンドルと、  
少なくとも一部が前記スピンドルよりも前方に配置され、ビットが装着されるアンビルと、

前記アンビルを回転方向に打撃するハンマと、

前記モータを収容するモータ収容部を有するハウジングと、を備え、

最大締付トルクは、 $140\text{ Nm}$ 以上であり、

前記回転軸に平行な前後方向における前記モータ収容部の後端部と前記アンビルの前端部との距離を示す全長  $L_a$  は、 $100\text{ mm}$ 以下であり、

床面に直交する壁面において前記床面から  $10\text{ mm}$ 上方の位置にあるねじを前記ビットで締付作業するときの前記回転軸と前記床面とがなす角度を示す隅打ち角度は、 $12$ 度以下である、

インパクト工具。

【請求項6】

ステータ及び少なくとも一部がステータの内側に配置され回転軸を中心に回転するロータを有するモータと、

前記ステータよりも前方に配置され前記ロータの回転力により回転するスピンドルと、  
少なくとも一部が前記スピンドルよりも前方に配置され、ビットが装着されるアンビルと、

前記アンビルを回転方向に打撃するハンマと、

前記モータを収容するモータ収容部を有するハウジングと、を備え、

最大締付トルクは、 $140\text{ Nm}$ 以上であり、

前記回転軸に平行な前後方向における前記モータ収容部の後端部と前記アンビルに装着された前記ビットの前端部との距離を示す総全長  $L_h$  は、 $140\text{ mm}$ 以下であり、

床面に直交する壁面において前記床面から  $10\text{ mm}$ 上方の位置にあるねじを前記ビットで締付作業するときの前記回転軸と前記床面とがなす角度を示す隅打ち角度は、 $12$ 度以下である、

インパクト工具。

【請求項7】

ステータ及び少なくとも一部がステータの内側に配置され回転軸を中心に回転するロータを有するモータと、

前記ステータよりも前方に配置され前記ロータの回転力により回転するスピンドルと、  
少なくとも一部が前記スピンドルよりも前方に配置され、ビットが装着されるアンビルと、

前記アンビルを回転方向に打撃するハンマと、

前記モータを収容するモータ収容部を有するハウジングと、を備え、

最大締付トルクは、 $140\text{ Nm}$ 以上であり、

前記回転軸に平行な前後方向における前記モータ収容部の後端部と前記アンビルの前端部との距離を示す全長  $L_a$  は、 $100\text{ mm}$ 以下であり、

左右方向における前記モータ収容部の寸法を示すヘッド部幅  $W_a$  は、 $65\text{ mm}$ 以下であり、

ヘッド部幅  $W_a$  と全長  $L_a$  との比は、 $0.6$ 以下である、

インパクト工具。

10

20

30

40